

平成25年度日本小児外科学会
第3回定例理事会議事録

日 時：平成 25 年 7 月 26 日（金） 11：00～16：00

会 場：日本外科学会会議室

出席者：仁尾正記（理事長）、黒田達夫（副理事長）、濱田吉則（理事・会長）前田貢作（理事・副会長）、北川博昭、窪田正幸、松藤 凡、八木 實、漆原直人、米倉竹夫（以上理事）、岩中 督、田口智章、蕨澤融司（以上監事）、菱木知郎（庶務委員長）、渡井 有（財務会計委員長）、小室広昭（庶務副委員長）、吉澤穰治（財務会計副委員長）田中 拓（庶務委員）、千葉正博（機関誌委員長）、山高篤行（PSI Publication Committee 委員長）、小高明雄（保険診療委員長）、田尻達郎（悪性腫瘍委員長）、河野美幸（学術・先進医療検討委員長）、米田光宏（倫理・安全管理委員長および倫理委員長）、臼井規朗（データベース委員長）、大島雅之（小児救急検討委員長）、増本幸二（利益相反委員長）、中原さおり（ワークライフバランス検討委員長）、尾花和子（トランジション検討委員長）、堀口裕輔（事務局）
欠席者：佐藤正人（庶務委員）、奥山宏臣（国際広報委員長）、天江新太郎（教育委員長）

議事案件：

議 事：

1. 第3回定例理事会の議事録署名人は、黒田達夫副理事長、八木 實理事とした。
2. 平成25年度第2回定例理事会議事録につき、全会一致にて承認された。
3. 報告事項

1) 理事長報告（仁尾理事長）

仁尾理事長より以下の報告があり、了承された。

- (1) 日本医学会からの冊子「第80回日本医学会定例評議員会議事録」を受領した。
- (2) 心の絆プロジェクトからの通信文「被災地支援活動 心の絆プロジェクト後援名義使用の許可」について仁尾理事長より、説明があり、使用許可とすることが了承された。
- (3) 日本外科学会からの寄贈本「SURGERY TODAY Vol.43No.7」を受領した。
- (4) 日本医療機能評価機構からの冊子「ニューズレター第2号」を受領した。
- (5) 日本温泉気候物理医学会からの理事長および会長の退任新任挨拶状を受領した。
- (6) 日本製薬工業協会からの冊子「製薬協ニューズレターNo.156」を受領した。
- (7) 厚生労働省母子保健課からの通信文「平成25年度健やか親子21全国大会開催について」を受領した。
- (8) 外科関連学会協議会からの通信文「労働環境に関するアンケート結果の報告」について仁尾理事長より、説明があり、了承された。
- (9) 日本医師会からの寄贈本「JMJA Vol.56No.1」を受領した。

2) 第155回小児科連絡協議会について（田口監事）

田口監事より、資料に基づき、第 155 回小児科連絡協議会の報告があり、了承された。

4. 審議事項

1) 各種委員会のメンバーについて

各種委員会委員長より、就任挨拶がなされた。

各種委員会担当理事、委員長より委員メンバーの案が提出され、理事会内規および他委員会との調整により、構成メンバーが決定された。なお、調整にあたっては、仁尾理事長より、内規に則り、委員の兼任の制限、委員・委員長の役職に関わらず、同じ委員会で引き続いて2期を越えての再任はできない等の原則が確認された。

なお、PSI Publication Committee委員長については、山高篤行評議員が推薦され、2期を超える就任であるが、業務の特殊性から余人をもって替えがたいことより承認された。またPSI Publication Committee委員についても同じ理由により、内規の原則を厳密には適用しないことが認められた。

2) 各種委員会業務内容と内規の見直しならびに活動方針について

各種委員会担当理事、委員長より委員会業務内容ならびに活動方針案が提出され、質疑応答・審議および適宜修正を行った上で、以下修正点を含め承認された。

(1)庶務委員会

学会公印の保管方法につき、委員長保管とせず、事務局保管とする。

(2)財務会計委員会

旅費の支払は事務局へ指示をすることとする。また、機関紙制作が中西印刷へ変更したため、中西印刷へ印刷部数を連絡する。

(3)機関誌委員会

電子ジャーナルが開始され、それに対する見直し及び動画配信などの新たな取り組みを今後どのように活用するか検討する。また、年間優秀論文の選定方法も再検討する。投稿原稿の用語が、「小児外科疾患用語集」（日本小児外科学会編，金原出版，1994）を用いることとなっているが、現在は入手困難であるため検討し、二次出版（二重投稿）についても再検討する。

(4)国際・広報委員会

市民公開講座に関する業務は、援助金の補助はしないこととなったため、委員会業務から削除する案が提出されたが、市民公開講座の広報としての援助は業務として残るため、補助金援助を除く業務については維持すべきとの意見があり、委員会にて業務内容を再検討することとなった。

(5)保険診療委員会

報酬算定基準の見直し項目に「外保連麻酔試案」を追加する。

(6)教育委員会

業務として内視鏡手術セミナーを追加する。

(7)悪性腫瘍委員会

「更にデータベースを作成し、永年保管するとともに最新のデータに更新する。」→「集計解析のためのデータベースを作成する。」へ変更する。

(8)学術・先進医療検討委員会

業務に、他学会・組織等が作成したガイドライン等の審査・承認を追加する。

(9)倫理・安全管理委員会

業務に医事訴訟における鑑定人リストの更新を追加する。

(10)データベース委員会

業務に日本小児外科学会独自の臨床データ集積システムの検討およびNCD手術症例データを日本小児外科学会が収集する臨床データとして有効に利用するための方策の検討を追加する。

(11)小児救急検討委員会

業務に小児救急セミナー、我が国の小児外傷の現状と小児外科医の役割および他学会との連携として以下3項目を追加する。

①日本小児救急医学会と日本小児放射線学会との連携

小児 CPA 症例に対する Ai の登録と中央診断

②日本小児救急医学会との連携

急性腸炎、急性虫垂炎のガイドライン作成

災害医療委員会

・大規模災害時の対応（日本小児科学会との連携について）

③小児救急医療電話相談事業（#8000）の厚労科研事業との連携

(12)利益相反委員会

構成メンバーについて指定していた規則部分を削除する。

仁尾理事長より、臨床研究の利益相反指針違反者への措置について、定款に沿った見直しが求められ、対応することとなった。

(13) ワークライフバランス検討委員会

業務として、ホームページ上での広報活動・キャリア継続に関する啓蒙活動を行う。

仁尾理事長よりクオータ制を検討課題とする旨の要望があり、業務として追加された。

(14) トランジション検討委員会

業務として、成人期医療へ移行する疾患について調査・検討を行い、日本小児科学会や成人疾患を担当する日本外科学会などの他学会、公的医療システムや民間支援との連携も視野に入れ、移行期の課題に取り組む足がかりを形成する。

3) 第51回学術集会について（濱田会長）

濱田会長より、資料を基に、プログラム内容の説明があり、承認された。

4) 第29回秋季シンポジウムについて（葦澤会長）

葦澤会長より、資料を基に、準備状況の説明があり、承認された。

5) 庶務委員会（菱木庶務委員長）

菱木庶務委員長より会員動向について、以下の報告があり、承認された。

2013年6月末現在の会員数は、評議員を除く正会員1,867名（うち海外2名）、評議員317名、名誉会員54名（うち海外8名）、特別会員67名（うち海外1名）の合計2,305名である。

6) 各種委員会報告

(1) 国際・広報委員会報告（仁尾理事長）

仁尾担当理事より、資料に基づき、ホームページリニューアルに関する提案がされ、審議の結果、承認された。

- ・トップページ・一般の皆様ページ・小児外科を目指す方へのページに掲載したいイメージ写真について、国際広報委員会推薦の写真が提案され、承認された。
- ・リニューアルに関する追加費用として、会員ページログインフォームの文言修正・リンクブロックの高さ修正・画像消去にかかる費用の見積が提案され、審議の結果、承認された。

なお、小児救急受入状況について、各施設にて掲載内容を直接ホームページ修正ができるシステムを導入する案が提案されたが、セキュリティの観点、および修正件数の数が少ないことから、事務局で修正対応可能なため、採用しないこととした。

(2) 教育委員会報告（松藤担当理事）

松藤担当理事より、資料に基づき、卒後教育セミナーのアンケート集計結果が報告され、承認された。

7) その他

(1) JCCG 準備委員会オブザーバーについて（仁尾理事長）

仁尾理事長より、JCCG 準備委員会発足に伴い、水谷修紀委員長より、JCCG 準備委員会オブザーバー就任の依頼が理事長宛に届いたことが説明・提案され、承認された。

(2) 会員向けメール配信について（仁尾理事長）

仁尾理事長より他学会・研究会の情報を会員にメール配信する依頼があった場合、どのような場合にその配信を許可すべきか、との提案があり、審議の結果、原則的には学会情報等はウェブに載せて、会員にはそれぞれについての新着情報があったことをメールで伝えることとなった。

また、メール配信を所掌する委員会が国際・広報委員会とし、今後のメール配信依頼の対応について委員会にて審議することとなった。

なお、メール配信の内容が会員全員に関与し、緊急を要するようなものについては、これまで通り理事長決裁とすることが確認された。

(3) 日本専門医制評価・認定機構からの専門医資格についてのアンケート（仁尾理事長）

仁尾理事長よりアンケートの説明があり、資料に基づいて回答案が提案され、審議の結果

果、承認された。

- (4) 診療の補助における特定行為（案）と指定研修における領域・行為群（案）に関する意見募集について（仁尾理事長）

仁尾理事長より、診療の補助における特定行為（案）と指定研修における領域・行為群（案）に関する意見募集に関する厚生労働省の説明会での内容の報告があり、要望事項があれば仁尾理事長まで意見を連絡することとされた。

- (5) 日本周産期・新生児医学会認定医制度の進捗について（窪田理事）

窪田理事より前回理事会で確認された認定制度（案）について周産期・新生児専門医制度委員会にて説明を行い、以下の点につき了承が得られたことが報告された。

- ・新生児手術に関しては小児外科専門医以外のダブルスタンダードを設定しない。
- ・小児外科専門医であれば、新生児手術に携わる資格を小児外科学会が担保する、という説明には一定の了解が得られた。

- (6) WOFAPS 選挙人について（仁尾理事長）

仁尾理事長より WOFAPS アジア代表に関する選挙がベルリンで行なわれることが報告され、日本代表の選挙人としては、国際広報委員会奥山宏臣委員長が投票を行うため、参加することが確認された。

- (7) 将来の学術集会のあり方について（岩中監事）

岩中監事より、学術集会のあり方として、接遇や PCO の選考基準および集金方法・会計処理など体制の見直しが必要であり、早急に検討すべきとの提案があり、検討のためのアドホック委員会として学術集会の在り方検討委員会を結成することが承認された。構成員は仁尾理事長、黒田副理事長、北川理事、八木理事、岩中監事、田口監事、蕪澤監事とすることが承認された。

- 8) 次回定例理事会の日程の確認について

次回理事会は平成25年9月9日（月）11：00～16：00 AP品川にて開催することが確認された。

理事長 _____

理事 _____

理事 _____